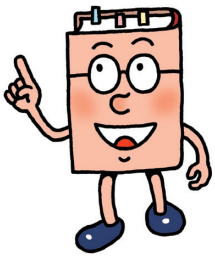
新しい漢字を学ぼう 1

●ここで学ぶ漢字は、16ページから33ページで使われています。



1　――の漢字に気をつけて、次の文を読みましょう。

□①　第一位の栄かんをつかむ。

□②　塩味のおかしをおみやげにもらった。

□③　草木の新芽が出始める。

□④　給水しせつを建てる。

□⑤　漢字には訓読みと音読みがある。

□ ⑥ 実験は見事にせいこうした。

□ ⑦ 昨年、家の表札を取りかえた。

2 次の文章を読みましょう。

今年の大会は五位に終わった。このけい験を教訓に、チームをさい建しよう。

位

位 位 位 位 位 位 位

7画

・イ
・くらい

・じゅん
・位
・百の位

栄

栄 栄 栄 栄 栄 栄 栄 栄 栄

9画

・エイ
・さか-える

・栄光
・栄える

塩

塩 塩 塩 塩 塩 塩 塩 塩 塩 塩 塩 塩 塩

13画

・エン
・しお

・塩分
・塩気

訓

訓 訓 訓 訓 訓 訓 訓 訓 訓 訓

10画

・クン

・訓練
・教訓

建

建 建 建 建 建 建 建 建 建

9画

・ケン
・た-てる／た-つ

・建せつ
・建具

験

験 験 験 験 験 験 験 験 験 験 験 験 験 験 験 験 験 験

18画

・ケン

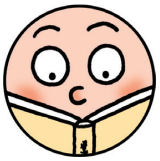
・受験
・し験

芽	・ガ ・め	・発芽 ・芽生え
芽芽芽芽芽芽芽芽芽		
8画		

給	・キュウ	・給油 ・配給
給給給給給給給給給給給給		
12画		

昨	・サク	・昨夜 ・昨今
昨昨昨昨昨昨昨昨昨		
9画		

札	・サツ ・ふだ	・千円札 ・名札
札札札札札		
5画		



気持ちの変化を考えながら読もう

ごんぎつね

新美南吉　作
長野ヒデ子　絵

一

これは、わたしが小さいときに、村の茂平というおじいさんから聞いたお話です。

昔は、わたしたちの村の近くの中山（なかやま）という所に、小さなおしろがあって、中山様というおとの様が、おられたそうです。

その中山から少しはなれた山の中に、「ごんぎつね」というきつねがいました。ごんは、ひとりぼっちの小ぎつねで、しだのいっぱいしげった森の中に、あなをほってすんでいました。そして、夜でも昼でも、辺りの村へ出てき

て、いたずらばかりしました。畑へ入っていもをほり散らしたり、菜種がらのほしてあるのへ火をつけたり、ひゃくしょう家のうら手につるしてあるとんがらしをむしり取っていったり、いろんなことをしました。

ある秋のことでした。二、三日雨がふり続いたその間、ごんは、外へも出られなくて、あなの中にしゃがんでいました。

雨が上がると、ごんは、ほっとしてあなからはい出ました。空はからっと晴れていて、もずの声がキンキンひびいていました。

ごんは、村の小川のつつみまで出てきました。辺りのす

すきのほには、まだ雨のしずくが光っていました。川は、いつもは水が少ないのですが、三日もの雨で、水がどっとましていました。ただのときは水につかることのない、川べりのすすきやはぎのかぶが、黄色くにごった水に横だおしになって、もまれています。ごんは川下の方へと、ぬかるみ道を歩いていきました。

ふと見ると、川の中に人がいて、何かやっています。ごんは、見つからないように、そうっと草の深い所へ歩きよって、そこからじっとのぞいてみました。

★いたずら